

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

場 所 3年2組教室
児 童 3年2組 児童35名
指導者 重 香

1 単元名 広いせかいに目を向けて

2 単元のねらい

本単元は、児童のいろいろな人と関わりたいという思いをもとに構成したものである。これまでの生活経験等をもとに身の回りにある外国の物に目を向け調べる活動、緑が丘学区で生活している外国の人と交流したり日本のことを伝えたりする活動を通し、世界の国々の文化や人々に関心をもち進んで関わり相手を尊重することをねらいとしている。

また、課題について協同的に調べたり、情報をもとにして話し合ったりする力を身に付けていくこともねらいとしている。

3 単元の指導構想

(1) 児童について

児童は、自分の食べているものや持っている物の中には、外国の物があることに気付いている。国語の漢字や片仮名の学習を通して、漢字は中国から伝わってきたこと、生活の中には外国の物があることを理解している。そのように物を通しての外国との関わりはあるものの、外国の人と直接関わった経験がある児童はほとんどいない。そこで、外国の人との関わりを通して、外国の文化や人々への関心を高めていきたい。

学級では、学習に意欲的で新しいことにも興味をもって取り組む児童が多い。2年生までの学習の様子を見ると、生活科の学習においては、町たんけんや昔遊びの活動を通して、いろいろな人と関わりたいという思いは高まっている。また、収集した情報を絵や図などを用いて伝えることもできている。しかし、自分の考えを様々な方法を用いて表現することには課題が見られる。また、友達の意見を受け入れ自分の考えを深めたり、自ら質問したり意見を述べたりするなど、協同的に学ぶことについても課題が見られる。そこで、児童のいろいろな人と関わりたいという思いを生かして課題を設定し、協同的に追究していく活動を設定していきたいと考える。

(2) 学習材について

今年度の総合的な学習の時間では、外国人との交流を柱としていく。本校学区は、多くの外国人が住んでいる地域である。その外国の人との関わりは、児童にとって新鮮であり、進んで関わり楽しむことができるものだと考える。

また、児童にとって、多様な人々と協力して暮らしていくことは大切である。国を超えた外国の人との関わりは、今後ますます必要性が増すと考えられる。身の回りには、たくさんの外国の製品があり、多くの外国の人が共に暮らしている。それらに目を向け、調査活動を行ったり、外国の人にインタビューをしたり、交流したりすることは、外国の文化や人々への関心を高めることにつながると思う。

また、外国について収集した情報をもとに交流したり話し合ったりする活動を通して、友達の考えと比較したり関連付けたりして考える力を育成することが可能な学習材である。

(3) 指導にあたって

児童の課題意識に基づく追究過程において、問題解決に必要な資質・能力を育成していくために以下の手立てを講じる。

「課題の設定」の場面においては、『課題を設定する力』を育むために、主に次の手立てを講じていく。

自分や他人、子どもと大人の人との関わり方の違いを比較し、環境や状況によって人との関わり方が異なっていることに着目できるようにする。また、世界地図を提示したり、やってみたいことを話し合うことにより、自ら外国の人と関わりたいという思いをもつことができるようにする。そして、児童の考えや思いをもとに話し合い、次の活動内容を決定していく。

＜「事象」とのつながり＞

外国の人との交流を進めていく中で、外国のことや日本のことについての情報を収集していく必要が生まれる。「情報収集」の場面においては、『情報を収集する力』を育むために、主に次の手立てを講じていく。

外国に関わる情報を本やインターネットを活用して収集するなどの方法を学ぶ場を設定する。情報を収集する方法を取り上げ、個の実態に合わせて支援する。

＜「事象」とのつながり＞

そして、収集した情報を整理・分析したり、次の交流の内容やその後の方向性を話し合っただけで決めていく。その「整理・分析」と「まとめ・表現」の場面においては、『整理・分析、つなげて考える力』を育むために、主に次の手立てを講じていく。

「整理・分析」場面では、外国について収集してきた複数の情報を、比較したり、関連付けたりして考える活動を設定する。「まとめ・表現」場面では、調査活動や交流活動を通して考えたことを表現する活動を設定する。

それらの学習をする際には、児童の思いをもとに視点を設定して話し合いを行っていく。話し合いの中では、発問や板書を工夫することにより、考えを分類したり、友達の考えと比較し再構成して考えたりすることができるようにしていく。

＜「友達」とのつながり＞

「単位時間の終末」においては、『自分を見つめ生き方考える力』を育むために、主に次の手立てを講じていく。

単位時間の終末に、学習内容や対象と関わる方法を振り返る場を設定する。また、次の時間の活動を構想したり、資質・能力の高まりを価値付けたりしていく。そのことにより、自分の資質・能力の高まりを自覚できるようにする。

単元や小単元の終末では、学習課題や学習したことをもとに、これから自分ができることを考え記述することにより、自分を見つめることができるようにする。単元を通して、どんな力が高まったのか記述することにより、自分の資質・能力の高まりを自覚することができるようにする。

＜「未来」とのつながり＞

これらの手立てを講じることにより、主体的・協同的に探究する中で、問題を解決する力を自分自身で身に付けていくものとする。

4 単元の指導計画

(1) 目標

「仲良くなりたい」「一緒に活動したい」「外国のことを教えてもらいたい」「日本のことを伝えたい」という思いをもとに楽しみながら外国の人と進んで関わると共に、日本と外国の違いを理解し、相手を意識ながら活動を考えたり伝えたりすることができる。

(2) 評価規準

課題を設定する力	資料を収集する力	友達と関わり合う力	整理・分析, つなげて考える力	表現する力	自分を見つめ生き方を考える力
自分と他人の生活経験の比較をもとに課題を設定することができる。	外国の人へのインタビュー, 本やインターネットから, 必要な情報を収集することができる。	友達の考えを聞き, 質問や意見を述べたりしながら, 協同的に活動を進めることができる。	複数の情報を比較したり, 関連付けたりして, 考えることができる。	調べたことを絵や図を用いて伝えることができる。	自分の学習を振り返り, よくできたことや, 次に頑張りたいことなど, 自己評価することができる。

(3) 指導計画 (全 70 時間 本時 22/70)

小単元	階	種	数	おもな学習活動 (<input type="text"/> は児童の課題)	評価規準 (評価方法)
オリエンテーション (1時間)	課題の設定	全体	1	○ 総合とはどのような学習なのか, どのような自分になりたいのか, どんな目的で1年間の総合を学んでいくのか話し合う。 <input type="text"/>	【課題を設定する力】 児童と教師の人との関わり方を比較し, 課題を設定することができる。 (発言・観察)
第1小単元 中国の人と仲良くなる う (28時間)	課題の設定	全体	1	○ 身の回りにある外国の物に目を向けて, なぜ外国の物が多くあるのか話し合う。 ○ 学区にはたくさんの外国からの留学生が共に暮らしていることを知る。 <input type="text"/>	【課題を設定する力】 外国の人との交流を通して, 相手のことをもっと知りたいという思いをもとに課題を設定することができる。 (発言・観察)
			3	<input type="text"/> ○ 中国の留学生と交流し, 日本の遊びや歌と一緒に遊ぶ。(交流会1) ○ どうしたらもっと仲良くなれるか話し合う。	
	情報の収集	全体	5	<input type="text"/> ○ 中国について(国・場所・言葉・食べ物・遊び・生活など), 知りたいことを話し合い, 情報を収集する。	
	整理・分析	全体	3	<input type="text"/> ○ 体験したことや収集した情報をもとに, 分かったことと分からないこと, 更に知りたいこと(疑問)を整理・分析する。	

	情報の収集	全体・グループ	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">中国のことを調べよう 2</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 留学生の方へ、興味をもったことを解決するためにインタビューをする。(交流会 2) ○ 留学生の方の自己紹介の内容について、興味をもったことを中心にインタビューをする。(交流会 3) 	【資料を収集する力】 留学生へのインタビューや交流から、必要な情報を収集することができる。 (観察・カード)
	整理・分析	グループ	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">中国について分かったことをまとめよう 2</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国について分かったことをまとめ、仲良くなるために日本について伝えたいことを調べる。 ○ 最後の1回の交流会でどんなことをしたいか話し合う。 	【資料を収集する力】 外国の人に教えたい日本のことを、本やインターネット活用して、必要な情報を収集することができる。 (観察・カード)
	整理・分析 まとめ・表現	グループ・全体	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">留学生さんと一緒に楽しく交流しよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの交流や調べたことをもとに、交流会の内容を考える。(本時) ○ 話し合って決めたことをもとに、交流会の準備をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">交流のまとめをしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教えてもらったお礼に、交流会を開く。(交流会 4) ○ これまでの交流を振り返る。 	【表現する力】 調べたことを絵や図を用いて伝えることができる。 (観察・発表資料) 【整理・分析、つなげて考える力】 中国についての情報と日本について調べたことを比較しながら、交流会の内容を考えることができる。 (観察・カード)
第2小単元 広いせかいに目を向けてみよう (27時間)	課題の設定	全体	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学区には、様々な国からの外国の人がいることから、さらに興味をもった国と調べる内容を話し合う。 	【課題を設定する力】 【友達と関わり合う力】
	情報の収集	グループ	14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本やインターネットを活用したりしながら、必要な情報を集める。 ○ 外国の人と交流を通して、さらに情報の収集をする。 	【資料を収集する力】 【友達と関わり合う力】 【整理・分析、つなげて考える力】 【表現する力】
	整理・分析	グループ	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに、調べた国と日本を比較しながら、伝わりやすい方法でまとめる。 	【友達と関わり合う力】 【整理・分析、つなげて考える力】
	まとめ・表現	全体	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級の友達に発表する。 	【表現する力】 【自分を見つめ生き方を考える力】
	課題の設定	全体	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学んだことをさらに広く発信できないか考える。 	【課題を設定する力】

第3小単元 せかいの国 について伝 えよう (14時間)	整理 ・分析	全体	1	○ どんな発表の方法があるか話合う。	【整理・分析, つなげて考える 力】
	まとめ ・表現	グル ープ	9	○ これまでの学習をもとに, 発表の準備をす る。 ○ 前回の発表を振り返り, 加えたい情報や修 正点の確認をし, よりよくしていく。	【整理・分析, つなげて考える 力】 【資料を収集する力】
		全体	2	○ これまで関わった外国の人, 学年の友達に 発信する。	【表現する力】
		個人	2	○ 1年間の総合を振り返りながら, 活動のま とめをする。	【自分を見つめ生き方を考え る力】

5 本時の指導計画


(1) 目標


中国の方との4回目の交流会の内容を, これまで中国の人と交流したことや収集した情報をもとに考えることができる。

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
これまで中国の人と一緒に活動してきたこと や教わったこと, 自分たちが収集した情報 をもとに, 4回目の交流会の内容について考 えることができる。	これまでの写真などの掲示をもとに活動を振 り返ると共に, 板書に位置付けた友達の考えに着 目するように促すことで, 自分なりの考えをもつ ことができるようにする。

(3) 展開

段階	予想される児童の活動と考え	教師の支援 ◇評価
導 入	1 これまでの学習を振り返りながら確認し, 活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《児童の思い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の人の思い出に残るような交流会にしたい。 ・これまでたくさん教えてもらったので, 感謝の気持ちを伝えたい。 ・日本のことをもっと好きになってほしいな。 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>〈「事象」とのつながり〉</p> <p>前時で取り上げた振り返りをもとに, 本時の活動を確認する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>自分たちの思いや留学生の方の知りたいことを考えた振り返りをもとに, 活動内容を確認する。</p> </div>
	2 分	

<p>展 開 35分</p>	<p>2 4回目の交流会の内容を話し合う。 (1) 交流会でやってみたい内容について、視点を決めて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>〇〇さんは、歌が好きだと言っていたから、日本の歌と一緒に歌うと、日本の歌も好きになってもらえるかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>日本のおいしい料理を作ってあげたい。私たちに用意できるものはなんだろう？なんとかごちそうできないだろうか？</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>中国の手遊びを教えてもらったから、日本の手遊びを一緒にできたら楽しいと思うな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>中国にはない、日本の遊びはどうか？手つなぎおには、みんな楽しいと思うな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>日本のことをクイズにしたら、みんなで楽しめるね。1問出してみるね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>踊りを一緒に踊るのはどうか？さんさ踊りなら練習したらできそうだよ。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 80%; margin: 10px auto;"> <p>日本のよさ、中国の方とやったこと、教えてもらったことなどをもとに、交流会の内容を考えていこう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を発表する際に、これまでの学習が振り返りやすいように、学級掲示を整える。 ・発表する際には、実際にやりながら紹介したり、学級全体でやってみたりすることができるように場の設定と道具の準備をしておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>〈「友達」とのつながり〉 自分の考えと友達の考えを板書により整理することで、比較したり関連付けたりして考え、話し合うことができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>中国の方と交流したことや収集した情報を関連付けて交流会の内容を考えることができるようにする。</p> </div> <p>◇これまで中国の方と一緒に活動してきたことや教わったこと、自分たちが収集した情報をもとに、交流会の内容について考えることができたか、発言やワークシートをもとに評価する。</p>
<p>終末 8分</p>	<p>3 話し合いを振り返り、次に対する思いをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>今日の学習では、交流会の内容を考えた。友達の話聞いて日本のよさと〇〇さんたちが楽しんでくれそうな内容がどれなのか比べながら考えられたので良かった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>〇〇さんに喜んでもらいたいと思って、交流会の内容を考えたことができた。いい交流会にするために、準備を頑張りたい。</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>〈「未来」とのつながり〉 本時の活動内容や方法を観点として振り返りをし、資質・能力の高まりを価値付けていく。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の交流会に向けて、期待感をもって学習を終えることができるようにする。 ・本時、友達の話聞いて比べながら考えられたことについての資質・能力を振り返り、次の学びへの目標をもつことができる。 </div>

